



徳田安春 JGFM編集長

日本のプライマリ・ケアを世界に発信する  
プラットフォームづくりに尽力

## Scientific Communityの プラットフォームに載せる

### — Journal of General and Family Medicine の これまでの経緯について教えてください。

総合系医療を基盤とした日本発の英文誌は、旧総合診療医学会以降の歴史を持つ“General Medicine”がありましたが、発行が年2回と少なく、PubMedに掲載される条件を満たさず、論文投稿が増えない状況が続いていました。これでは日本の総合系医師がどんな取り組みをしているのか、日本の総合診療はどのような状況なのか、世界に発信できません。世界の人たちに我々の実践している医療を知ってもらうためには、**Scientific Communityのプラットフォームに載せることが重要です。** 3年前に英文誌をJGFMにリニューアル、その後、発行数を増やしていき、今年からは年6回発行としました。これも丸山泉理事長をはじめとする理事と会員の皆さんの強力なサポートのおかげです。

### — 完全オンライン化、フリーアクセスも、今回の リニューアルの大きな特徴ですね？

Wiley社と提携することで、特に若い世代が世界に発信するコミュニケーションのプラットフォームとして機能することが期待できます。質の担保された論文により、日本のプライマリ・ケアの良いところを発信していった欲しいです。

### — JGFMの具体的なコンテンツについて教えてください。

目玉の一つはClinical Problem Solvingです。海外誌ではNew England Journal of MedicineやJournal of Hospital Medicineにも掲載されていますが、**日本の総合診療の非常に高い臨床推論力を世界に発信していきます。** グラム染色やフィジカルを自分の手で確かめていくのは日本が世界に誇れる診療スタイルです。Clinical Imagesはスマートフォンが普及した現代に適合しており、読者も高密度な学習が可能です。また、世界の高齢社会である日本の疫学研究は世界から求められています。充実したReview articleでその声に応えていきます。

<http://www.primary-care.or.jp>

## Journal of General and Family Medicine

An Official Journal of the Japan Primary Care Association

### Why Japanese primary care providers need to publish scientific articles?

All opinions, ideas, or hypotheses in medicine should be published and thus discussed in scientific journals. Indeed, this action of publishing scientific articles is a proof of being a member of scientific community. Although commercial journals or magazines have a role for educating primary care providers, genuine scientific contribution should be assessed by the magnitude of activity in the scientific community.

### We welcome a growing number of submissions by primary care providers who want to be a member of the scientific community.

Yasuharu Tokuda  
Welcome to the new online renewal of the journal  
J Gen Fam Med. 2017;18:4.

## 職種と言語の障壁を超えて

### — 本学会は様々な職種から構成されています。学 会員に期待することは何ですか？

なんとと言っても Original Article です。質量ともに充実していることが必要です。今年は年6回、計60本の論文を発信する予定であり、**年内のPubMed掲載を目指します。** 会員数を考えれば、もっと本数を多くできるはずですが、みなさまにはぜひ、JGFMへの論文掲載を目指していただきたいです。

### — 英文誌の投稿はハードルが高いと感じる人も多 いと思います。学会の研究助成制度に加えて、論 文投稿を支援する制度はありますか？

学会では、和文誌に投稿した**論文の英文化をサポート**しています。日本語の論文は書いたけれども…という方は、レターに書いていただければ英文化へのサポートを検討します。加えて、日常診療から英語に慣れることが第一歩であると考えています。

## アジア圏でのリーダー的な雑誌に

### — 今後の展開を教えてください！

特に**若手の皆さんに期待**しています。日本からの発信、日本への発信を行っていただき、年12回の発行を目指していきたいです。世界の長寿国として、我々が日々行っていることを発信し、日本独自の価値を見出しながら世界に貢献できるような学術誌を作っていきます。世界の主要雑誌は欧米圏に占められていますが、人口が急増し経済の発展も著しい**アジア圏における総合系を志向するリーダー的な雑誌になることを期待**しています。

### — とても大きな夢ですが、すべては私たちにかか っているのですね！！

# Welcome Your Innovative Article!!

## 編集後記

インタビューは終始和やかな雰囲気でしたが、徳田先生が長年抱えてこられた「世界に発信を！」という熱い思いを感じ、一同、強く励まされました。英文化や「Scientific Academyのプラットフォームに載せる」ということは、欧米に追いつけ追い越せではなく、アジアの中の日本のあり方を世界標準の舞台上で議論していこうということなのだと思えました。

インタビューア：矢吹 拓  
日本プライマリ・ケア連合学会 広報委員会 作成